



お坊さん み跡を めぐる part 2

けん 顕 証 寺

「久宝寺御坊」と称される大阪府八尾市の近松山
顕証寺を訪ねました。本願寺第八代蓮如上人ゆか
りのご旧跡には、上人が救われたという
大蛇の伝説とともに、その大きな
「頭の骨」が今に伝えられています。



蓮如上人像と本堂



蓮如上人も水運に利用されたという
久宝寺船着場付近

現代に生きる寺内町

大阪市の南東に位置する八尾市。
河内平野の中心にあたる同市のさ
らに中心に顕証寺があります。

蓮如上人ご在世の頃、久宝寺村
には、法円や法光、法性といった
上人のお弟子たちが住んでおられ
たそうです。この一帯は旧大和川
と平野川のデルタ地帯で、橘島と
いわれたところでした。当時、蓮如
上人は船などでしばしば訪れられ
たようで、歌も詠んでおられます。
年つもり五十有余をおくるまで
きくにかはらぬ鐘や久宝寺

さて、顕証寺の歴史をさかのぼ
りますと、文明11年（1479）、
上人が、この地で廃寺となってい
た聖徳太子創建という久宝寺の跡
に西証寺を建立され、十一男の実

順さまを住職とされたことにはじ
まります。
ところがその後、二代で後が絶
えてしまったため、河内の人々の
強い要望によって、蓮如上人の六
男・蓮淳さまを住職として迎える
ことができました。このとき、蓮
淳さまが住職を務められていた大
津（滋賀県）の顕証寺から寺号を
とり、その名を改めました。

この顕証寺を中心に、周囲に二
重の堀と土塀をめぐらし、碁盤の
目のように道を通して寺内町が形
成され、現在に至っています。
境内に入ると本堂の威容が風格
を漂わせ、右側にある近代的な会
館と対照的です。18世紀初め、江
戸中期に再建された本堂をはじめ、
渡り廊下や長屋、山門、築地塀、
手水舎、鐘楼などが大阪府の文化



本堂につながる渡り廊下と長屋(右)



山門横の築地塀

おかげさまで 創立75周年
世界平和 佛法興隆



鐘 銅像 モニュメント 制作中

岩澤の梵鐘

京都市右京区うすまさ唐渡町22

☎0800-777-1001

FAX 075 (872) 8186

http://iwasawa-bonshou.com

復元 お洗も致しております。



顕証寺

大阪府八尾市久宝寺4-4-3。

☎072 (993) 1144

JR「久宝寺」駅下車、徒歩7分。近鉄「八尾」駅下車、タクシーで10分。

駐車場は数台分あり。ただし大型バスは寺内町への進入不可。事前に問い合わせを。

財に指定されており、歴史を感じさせる佇まいです。現在、国の重要文化財の指定を受けようと、各種調査や修復が進められているようです。

この顕証寺から、これまで本願寺第十七代法如上人と第二十代広如上人が、本山のご門主になられています。また、毎年5月11日には、蓮如忌法要がたいへん盛大に営まれています。

お寺の近くを流れる長瀬川は、

原文・現代語訳を読む

親鸞聖人の語録である『歎異抄』を、大きな文字と丁寧な解説で味わう。原文・現代語訳・訳註付。

梯 實圓 解説

大きな字の歎異抄

A5判/196頁/本体 750円+税

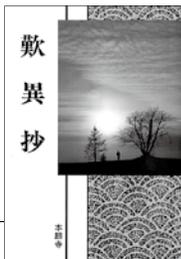


『歎異抄』が身近でやさしい現代語に。脚註・訳註や巻末付録でわかりやすく。

浄土真宗教学研究所 編

歎異抄 (現代語版)

B6判/138頁/本体 800円+税



届いてますか？ 親鸞聖人の言葉…
本願寺出版社の『歎異抄』

『漫画 歎異抄』より

対談で知る

時代を超えて人々の心を揺さぶる、『歎異抄』に記された言葉の内実を語り合う。

釈 徹宗・大平 光代 著

歎異抄はじめました

親鸞聖人から届いたメッセージ

四六判/208頁/本体 1,400円+税



漫画で読む

『歎異抄』って名前は知っているけれど、難しい解説書はちょっと…という方におすすめ。

岡橋 徹栄 作 広中 建次 画

漫画 歎異抄

A5判/256頁/本体 952円+税



本願寺出版社 0120-464-583 FAX 075-341-7753
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) http://hongwanji-shuppan.com/

発送梱包手数料別
(税込3,000円以上は無料)

上人の大蛇救済

もと大和川の本流で、江戸初期の大和川の付け替え前までは200メートルの川幅があり、人と物資の運搬で川舟が往復したそうです。久宝寺船着場が往時を偲ばせています。

顕正寺に伝わるたいへん珍しいものが「蓮如上人御救済大蛇骨」です。伝説によると、上人が大坂(石山)御坊で毎日み教えを説かれていたところ、痛みに苦しむ大蛇が上人の説法を聞きつけ、ある夜、女性に変身して上人に「私でも仏になれるとお聞きしました」と救いを求めてきました。そこで上人が阿弥陀仏のご本願を説かれたところ、大蛇は往生を遂げ、その遺骸が残されたということです。

実はシャチの骨だった?!



長さ1尺、幅65釐、重さ70キもある「大蛇の頭骨」。昨年、学術調査が行われ、何とシャチの頭部の化石とわかりました。その全長は7尺といひます。



お坊さんみ跡をめぐる part 2